

対話結果

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-1	資A01～ A13	市庁舎 各階岩綿吸音板 天井 採用室	原案:GB下地 岩綿吸音板 変更案:岩綿吸音板 t=12.0 直貼り 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-2	資A01資 A02	市庁舎 G階廊下他天井 高	原案:G階 廊下G-1～4・ゴミ置き場・脱衣室・ 清掃員控室・休憩室・更衣室 天井高 2600 変更案:天井高 2500 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-3	資A01資 A02	市庁舎 G階市民ロビー他 共用部天井	原案:ケイカル板+木目調シート貼り 変更案:GB下地 岩綿吸音板 理由:音環境の改善、コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-8	資A02 資A04 資A08	市庁舎 G・1・3階便所(3 階は秘書課内) 床・壁仕 上	上記 更なるVE →床 長尺塩ビシート (TOLI フロアリュームリッチ程度) 壁 耐水GB クロス貼り 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-9	資A02～ A13	市庁舎 各階便所天井高	原案:便所・給湯室・授乳室 天井高 2600 変更案:天井高 2500 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-10	資A02～ A13	市庁舎 各階空調機械室 他設備諸室 床	原案:合成樹脂 塗床 変更案:塗床 中止 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-11	資A02 資A04 資A08	市庁舎 G・1・3階便所(3 階は秘書課内) 床・壁仕 上	原案:磁器質タイル貼り 変更案:床 長尺塩ビシート (TOLI フロアリュームリッチ程度) 壁 化粧ケイカル板塗装 理由:メンテナンス性の向上	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-12	資A03	市庁舎 1階市民ロビー他 共用部天井	原案:ケイカル板+木目調シート貼り 変更案:GB下地 岩綿吸音板 理由:音環境の改善、コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-13	資A07	市庁舎 3階市長室応接 室副市長室壁仕上	原案:腰:天然木練化粧合板 壁:布クロス 変更案:腰:樹脂製腰壁パネル (カッターベースボード製 腰壁君程度) 壁:ビニルクロス 理由:メンテナンス性の向上	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-14	資A08 資A10	市庁舎 3・4階更衣室天 井高さ	原案:天井高 2600 変更案:天井高 2500 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-15	資A11	市庁舎 5階 議場天井	原案:寒冷紗パテの上EP 変更案:岩綿吸音板 理由:音環境の改善 コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-16	資A11	5階 正副議長室応接室 壁	原案:腰:天然木練化粧合板 壁:布クロス 変更案:腰:樹脂製腰壁パネル (カッターベースボード製 腰壁君程度) 壁:ビニルクロス 理由:メンテナンス性の向上	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-17	資A11	市庁舎 6階 傍聴席6-1 天井	原案:寒冷紗パテの上EP 変更案:岩綿吸音板 理由:音環境の改善 コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-18	資A13	市庁舎 共通事項 床タイル カーペット	原案:東リ GA-970 変更案:大河通商 HAIMA TG-3000 原着ナイロン製品 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。
資-19	資A14	土木作業員詰所 便所天 井高	原案:便所 天井高 2700 変更案:天井高 2500 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、 不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-20	資A17	工事着工について	原案:「各棟建設スケジュール(1)」において工事着工は杭工事着手時 変更案:工事着工を地盤改良工事着手時とする 理由:関係諸官庁との打合せにおいて、地盤改良工事、山留工事、杭打工事又は根切工事着手を本工事着手とみなすとの回答があったため。	○	適とする。ただし、工事着工日については、法手続きを遵守し要求水準書に記載の条件を満たすこと。
資-21	資A24	市庁舎1F 市民レストラン床	原案:フローリング 変更案:木目調長尺塩ビシート 理由:メンテナンス性の向上	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-22	資A24	市庁舎GF・1F エントランスホール他 壁	原案:一部 木製ガード付き 変更案:木調樹脂製 ガード 理由:メンテナンス性の向上	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-24	資A24	土木作業員詰所・立体駐車場内部 天井	上記 更なるVE →化粧石膏ボード 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-25	資A25	土木作業員詰所・立体駐車場内部 天井	原案:GB下地 岩綿吸音板 変更案:直貼り岩綿吸音板 理由:コスト・性能のバランス	×	要求水準書にて規定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-26	資A47～50	計画地盤高さについて	100mm高くする。 ⇒切土範囲減、搬出土量減、地球環境に配慮。	×	事業条件の大幅な変更となるため、不適とする。
資-27	資A47～50	計画地盤高さについて	500mm高くする。 ⇒切土範囲減。搬出土量減。地球環境に配慮。	×	事業条件の大幅な変更となるため、不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-28	資A49	植栽・広場造成地について(C-C断面)	原案:場内切土発生残土は敷地外にほぼ搬出 変更案:場内切土発生残土を利用して植栽地に 変化のあるマウンドを適用する 理由: ・場内搬出土削減により、搬出車両CO2削減 ・場内表土再利用による、生物多様性保全 ・立体的緑地の形成による景観配慮 ・雨水一時貯留による流出抑制 ・枯葉の飛散抑制	×	きらっとひろばの利用及びⅡ期工事の外構工事に支障をきたすため、不適とする。
資-30	資A56	外構仕上げ材について	ハミング広場鍵盤花崗岩張りをアトヴァン/プレカット規格品 400角t13に変更。 ⇒LCC修繕更新費減。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-31	資A56	総合案内サイン コトフキ UC322200	本体/SUS1100×1400×D154/ウレタン塗装表示/塩ビシート切文字 ⇒情報伝達性能は同等、LCC修繕更新費減、必要機能に応じた仕様。	×	サインについてメーカーは指定しないが、この提案は基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-32	資A56	総合案内サイン コトフキ UC322400	本体/SUS700×800×D154/ウレタン塗装表示/塩ビシート切文字 ⇒情報伝達性能は同等、LCC修繕更新費減、必要機能に応じた仕様。	×	サインについてメーカーは指定しないが、この提案は基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-33	資A56	ハミング広場鍵盤 花崗岩張り	200角磁器質タイル LIXIL ピアッツアOX ⇒LCC修繕更新費減	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-34	資A56	ハミング広場スタント階段石張り	太陽セメント工業/コルゲートステップ2830 ⇒LCC修繕更新費減、必要機能に応じた仕様。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-35	資A56	ハミング広場鍵盤 花崗岩切石	飯島石材(株)/ハウダーコート ⇒清掃手間削減、LCC修繕更新費減、必要機能に応じた仕様。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-37	資A64～ 68	既存樹木について	伐採伐根を場内に仮置し移植再利用します。	×	既存樹木の仮置については、枯補償が適用されない可能性があることから、不適とする。
資-38	資A69	きらっとひろばについて	「地被」から「土」に変更します。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-39	資A69	ハミング広場仕上げについて	「段芝張り」から「カラー樹脂塗装」に変更します。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-40	資A69	植栽計画図について (A、Bゾーン)	原案:A、Bゾーンは中高木を植栽 変更案:景観優先度の低いエリアは、生長の早い若木(H3m)を用いる 理由: ・計画地への活着率を上げる ・客土量が削減し、搬入車両のCO2削減 ・支柱形式が変更し、材料コストの削減	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-41	資A70	樹種見直しについて	落葉高木ケヤキ(5本)を中木(9本)に振り替え。 ⇒外壁部メンテナンス効率化、根上防止、高木管理費減、落葉の処理費減、必要機能に応じた仕様。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。基本設計に従うこと。
資-44	資A70	植栽樹種について-2	原案:低木樹高 変更案:景観的变化を形成するため、一部変更 ・ヒラドツツジH0.5W0.5→ H0.3W0.3 ・マルバシャリンバイH0.5W0.4→ H0.4W0.4 ・キリシマツツジH0.5W0.4→ H0.4W0.3 ・サツキツツジH0.5W0.4→ H0.3W0.4 理由: ・景観的变化を形成。 ・イニシャルコストの低減。	×	基本設計にて想定した所定の性能を満たさないため、不適とする。
資-46	資 A76 ～82	排煙設備について	避難安全検証法により検証を行い、機械排煙に変更したい。	×	新庁舎供用後の改修を行う度に避難安全検証を行う必要があるため、不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-47	資E	コンデンサについて	コンデンサ100kvar×6台を200kvar×3台に変更したい。総容量を変えずに省スペース化を図る。	×	細かな力率調整が行えず、非効率であるため、不適とする。
資-48	資E	電力ゾーニングについて	電力ゾーニングを3ゾーンから2ゾーンに変更したい。分電盤を集約することにより、管理箇所を削減することができる。	×	建築設備計画基準(800㎡程度ごとに配置)に反するため、不適とする。
資-49	資E01	電灯幹線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-50	資E02	動力幹線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-51	資E02	受変電設備について	空調方式の変更(ガス熱源→EHP)に伴い、受変電設備を変更したい。	×	提案の空調方式並びに受変電設備の変更は基本設計の趣旨に適さないため、不適とする。
資-52	資E03	直流電源装置について	必要機能に応じた仕様とするため、長寿命型MSEを一般型MSEに変更したい。	×	期待寿命が短くなるため、不適とする。
資-54	資E03	構内情報通信網配線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-55	資E03	構内交換設備配線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-56	資E08	コンデンサについて	メンテナンス性向上のため、コンデンサ100KVar×6台設置を200KVar×3台設置に変更したい。	×	細かな力率調整が行えず、非効率であるため、不適とする。
資-57	資E09	直流電源装置について	メンテナンス性向上のため、非常照明用電源と受変電設備制御・操作用電源の2台設置をまとめて1台設置に変更したい。	×	要求水準で設定している基準(事務室;750LX)並びに官庁施設の総合耐震計画基準および同解説に反するので、不適とする。
資-58	資E12	電灯幹線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-59	資E12	動力幹線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-60	資E12	構内情報通信網配線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-61	資E12	構内交換設備配線について	メンテナンス・更新を容易にするため、EMケーブルを一般ケーブルに変更したい。	×	環境配慮を優先するため、不適とする。
資-64	機械-資-12	空調機系統について	6F空調機を統合(AHU5-2+AHU6-1を一台に)したい。変更後もVAV制御により個別温度制御は対応できるため、快適性を維持しながら統合によるメンテナンス性の向上が期待できる。空調機室スペースを倉庫などとして利用が可能となる。	×	AHU5-2とAHU6-1は、使用時間帯が異なるため、統合は不適とする。
資-67	機械-資-48	建屋内汚水雑排水系統について	分流方式を合流方式に変更したい。機能上は問題ない。	×	市の業務の継続性を踏まえ、リスク分散の観点から不適とする。
資-69	資M01	熱源方式について	中央熱源をガス(GHP)と電気(EHP、外調機)主体の個別方式に変更したい。	×	基本設計で要求しているコージェネを含めた電気・ガス複合システムでないため、不適とします。
資-70	資M02	空調システムについて	メンテナンス・更新を容易にするため、AHU、AHU+FCU、AHU+ウォールスルーユニットをOHU、OHU+ビルマルに変更したい。	×	提案の機器選定はコージェネの採用がないなど基本設計の趣旨に適さないため、不適とする。ただし、ウォールスルー方式を変更することは可能だが、細かいエリアごとに運転が可能なこと。
資-71	資M02	熱源フロー図	原案:冷却水配管が2系統 変更案:冷却水配管を統合して、1系統とする 理由:非常時冷却水配管の破損の可能性が低いと思われるため、LCC低減、省メンテナンス	×	市の業務の継続性を踏まえ、リスク分散の観点から不適とする。
資-72	資M02 資M21	空調熱源方式について	蓄熱により生じる熱ロス、放熱時の熱交換器で生じる熱ロスを考慮し、省エネルギーの観点から氷蓄熱空冷ヒートポンプシステムを、より高効率な空冷ヒートポンプモジュールチラーに変更したい。(ピークカットや節電については、ガス熱源によって対応とします。)	×	近年のエネルギー事情を考慮し、夜間電力を活用した蓄熱システムを併用した熱源方式とすることが有効と考えられるため、不適とする。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-77	資M05	屋内排水設備について	メンテナンス・更新を容易にするため、汚水雑排水分流式を汚水雑排水合流式としたい。	×	市の業務の継続性を踏まえ、リスク分散の観点から不適とする。
資-78	資M11	空調ダクトゾーニングについて	AHUの外気取入れ、排気を高い位置から各階に変更したい。クールトレンチを中止したい。	×	建築物における衛生的環境の確保に関する法律(昭和四十五年四月十四日法律第二十号)の基準を原則とするため、不適とする。 なお、対話時においてクールトレンチを中止したい旨の文言を誤表記により削除したい申し出があり、了承した。
資-80	資M17 資M19	2F,4F倉庫・個別空調方式について	水光熱費、維持管理の低減を図るため、ファンコイルユニット+AHUによる空調を中止し換気のみに変更したい。	×	将来の室の利用変更に対応できないため、不適とする。
資-81	資M20	空調機ゾーニング図	原案:議場の吹き出し方式は床吹き出し 変更案:壁吹き出し方式とする。 理由:省メンテナンス、LCC低減	×	議場は天井高が高く、壁吹き出し方式では居住域での快適な環境が確保できないため、不適とする。
資-82	資M21	熱源機械室	原案:熱源機械室が屋内 変更案:設備機器を屋外仕様とし、機械室中止 理由:更新のしやすさ、LCC低減、スペース効率アップ	×	屋外仕様とすることにより、設備機器の安全性、保全性、耐用性に懸念があるため、不適とする。
資-84	資M38	多目的トイレの機器について	他の一般型のトイレと同様、TOTO RESTROOM ITEM01シリーズをコンパクト多機能トイレパックに変更したい。	○	適とする。ただし、機能は基本設計と同等以上であること。
資-86	資M47	多目的WC・最下階WCにおける汚水・雑排水配管について	他系統、他階への影響を及ぼしにくい左記便所については、計画を合理化することで省資源化を図るため、分流式を合流式に変更したい。	×	市の業務の継続性を踏まえ、リスク分散の観点から不適とする。
資-87	資M56	6F熱源機械室の消火設備について	維持管理費削減、省スペース化を図るため、熱源機械室内を200㎡以内で区画し、消火設備を窒素ガス消火から屋内消火栓での警戒に変更したい。	○	適とする。ただし、機器メンテナンス、更新等に影響が出ないようにすること。

「資料7 習志野市新庁舎等基本設計 資料編」に関する対話事項

No	頁	タイトル	提案	提案の 適否	対話結果
資-88	熱源方式の比較検討書	熱源方式について	空調システムの変更に伴い、 空冷HPチラー・氷蓄熱 530kW×1組 +ガス吸収式冷温水機(ジェネリンク) 60Rt×1台 +CGS(コージェネ) 35kW×1台 +ガス吸収式冷温水機 300Rt×2台 を ガス吸収式冷温水機 150Rt ×2台に変更したい。	×	基本設計で要求しているコージェネを含めた電気・ガス複合システムでないため、不適とします。